



# 研究者による ディスカバリートーク

## ●10月の概要●



日程	分野	講師	テーマ	概要	実施フロア	
5日	土	地学	芳賀 拓真	【化石の日特別企画】 ◆ライト◆ ピカリアがいた海	教科書にも出てくる代表的な化石、ピカリア。彼らが住んでいた中新世の日本列島の海について、展示を見ながら解説します。	日本館3階 ※
		動物	篠原 現人	日本の深海魚	あまり採集されたことのない種から食用として知られる種まで、日本列島周辺の深海魚たちを紹介します。	地球館3階講義室 15時～17時～
6日	日	人類	海部 陽介	ヒトの脳の進化	脳の進化が人類に何をもたらしたか？展示をみながら探ります。	地球館B2階DP ※
		理工学	鈴木 一義	江戸時代の技術について	江戸時代のさまざまな技術について、具体的な資料をもとに解説します。	地球館2階DP ※※
12日	土	地学	木村 由莉	【化石の日特別企画】 科博の化石どうぶつ	動物園では見かけないようなどうぶつがいっぱい！科博の化石どうぶつを紹介します。	地球館B2階DP ※
		動物	齋藤 寛	貝の生活	身近な貝を例に、貝の食べ物や成長のしかたなど、貝の生活について解説します。	地球館3階講義室 ※※
13日	日	植物	秋山 忍	◆ライト◆ ハギの花	秋の七草のひとつであり、身近に見られるハギについて解説します。特に、花のかたちに注目します。	地球館1階DP ※
		理工学	前島 正裕	電磁石について	小学校でも習う電磁石。生活のいろいろな場所や研究でも使われています。電磁石にまつわる歴史や、いろいろなお話をします。	地球館2階DP ※※
14日	月・祝	地学	真鍋 真	【化石の日特別企画】 最新恐竜学	恐竜学の最新の話について、当館の展示に関連付けながら解説します。	地球館3階講義室 ※
		動物	奥村 賢一	もくもくと くまなく くまがし ～クモ類の生物地理学～	徘徊性クモ類の生物地理学的研究について、九州地方における成果を紹介します。	地球館3階講義室 ※※
19日	土	人類	篠田 謙一	ミイラ展の紹介	11月から始まる「ミイラ展」の内容を紹介します。	地球館3階講義室 ※
		動物	藤田 敏彦	キョクヒ・キョクヒャー・キョクヒスト	皆さんの好きな棘皮動物の中から、興味深い生活をしている種をとりあげてスライドで紹介いたします。	地球館2階DP ※※
20日	日	地学	對比地 孝亘	【化石の日特別企画】 “鳥もどき”はどこまで鳥っぽい？	“鳥もどき”の名を持つ獣脚類恐竜アビムスについて、近年判明してきたその特徴について解説します。	地球館3階講義室 ※
		理工学	若林 文高	周期表150年	今年は、ロシアのメンデレーエフが元素の周期性を発見してから150年。ユネスコが「国際周期表年(IYPT)」と決めました。周期表にまつわるお話をします。	地球館3階講義室 ※※
22日	火・祝	植物	保坂 健太郎	日本の一番東の島で見た きのこのひみつ	日本の最東端、南鳥島。たどり着くのが難しい島でおこなったきのこの調査について紹介します。	地球館2階DP ※
		動物	神保 宇嗣	日本のチョウやガの絶滅危惧種 と収蔵資料	日本で絶滅のおそれのあるチョウやガを、当博物館に収蔵されている資料に触れつつ紹介します。	地球館3階講義室 ※※
26日	土	動物	川田 伸一郎	哺乳類のしっぽ	いろんな哺乳類の尾の形についてお話しします。	地球館3階講義室 ※※
27日	日	人類	坂上 和弘	特別展「ミイラ」について その2	いよいよ11月から特別展「ミイラ」が開催されます。展示の見所などを監修を担当した研究者が解説します。	地球館B2階DP ※
		理工学	米田 成一	隕石と太陽系	隕石の実物を見ながら、隕石からわかる太陽系誕生の様子について解説します。	地球館2階DP ※※

時間：※は11時と13時 ※※は12時と14時から。各回約30分。

同じ内容でそれぞれ2回開催します。

◆ライト◆マークの回は、初めて参加される方向けの短めのトークです。

◆プラス◆マークの回は、より発展的な内容を含む長めのトークです。

テーマにより時間が短縮されたり延長されることがあります。

詳細は当日受付でご確認ください。

受付：会場の入口で、始まる15分前から受け付けています。（先着順、予約はできません）

★日本館が会場のときは実施フロアの中央回廊で受付をします。

定員：15席。定員を超えた場合は立見となります。講義室の場合は50席。

対象：どなたでも。小学校高学年以上に合わせた内容です。